

心の風景

164



電車が通るたびに、リズムをとるように細い茎を揺らします。
小さな風にさえ揺れるコスモス。外見ははかなげですが、実は、台風で倒れても茎の途中から根を出し、再び花を咲かせる強い植物です。
原産地はメキシコの高原地帯ですが、今では日本の秋を代表する花の一つです。

(石森)



表紙の人

武馬 邦広さん

(大森台の自宅にて)

定年後、藤つると和紙を使った「あかり」(照明器具)の制作を手掛け、美濃市の「美濃和紙あかりアート」や市美術展でも入選作品を出品しています。きっかけは、つる細工をしている妹さんからつる籠に和紙と電球を組み込む依頼を受けた事でした。

制作の過程は試行錯誤の連続でした。つるの表面の感触を残しながらの防虫処理法、接着するのり一つとっても、最適な材料を探すのに労力を費やしました。

つるは、毎年冬に、子どもの頃過ごした八百津町内で入手します。枠の形を整え固定し、乾燥・防虫処理をするのに1年～2年、さらに和紙が張れる状態に仕上げるため、完成するまでに2～3年かかります。

これからも改善を加え、つるそのもので造形的な作品を作りたいと、さらなる創作意欲を燃やします。

広報かに No.630 2008年10月1日号

編集・発行 / 可児市役所 〒509-0292 岐阜県可児市広見一丁目1番地 ☎ 0574 621111 ㊚ 0574 610345 URL <http://www.city.kani.lg.jp/>

市の人口 103,449人 (男 / 51,461人 女 / 51,988人) 世帯数 38,431世帯 (9月1日現在)
(前月より67人増・56世帯増、昨年同月より1,044人増・991世帯増)



広報かには再生紙を使用しています。
大豆インキで印刷されています。